



GXリーグ GX人材市場創造WG

人材（役割）から始める・進める GXガイドブック説明書

GXリーグ GX人材市場創造WG

本成果物はWGリーダー・メンバー以外の企業も自由にご利用いただけますが、ご利用に当たっては以下の通り出所を明示ください
出所)GXリーグ GX人材市場創造WG「人材(役割)から始める・進める GXガイドブック説明書」(2026年3月)

以下の4つのステップをサイクルスムーズに実践するための人材像を定義します



1.
知る (Know)

GXの必要性和、自社で求められる役割を理解する土台作りのフェーズ。



2.
測る (Measure)

事業活動に伴うGHG排出量を正確に算定し、現状を可視化するフェーズ。



3.
減らす (Reduce)

経営方針に則した削減計画を策定し、組織横断的に実行するフェーズ。



4.
開示 (Disclose)

取組を透明性高く開示し、ステークホルダーからの信頼を獲得するフェーズ。

このガイドブックは、各フェーズで「どのような人材・役割が必要か」を明確にし、自社に不足しているスキルを見極める手助けをします。

目的

- GXの必要性を理解し、実際の業務で求められる役割を知る。

目指す姿

- 社員一人ひとりが「なぜ自社にGXが必要か」を自分の言葉で語れる状態。

主な業務 (Key Tasks)



リテラシーの習得

経営層を含む全人材が
GXに関する
基礎知識を身につける



役割の理解

GX推進における
各担当の役割と責任を理解し、
必要な知識を習得する



現状分析

各フェーズにおいて
自社に不足している人材・スキルを
明確化し、対策を検討・実施する

Trail Story[実践ストーリー]：経営層の気づき

取引解消リスクを機に経営層がGX推進を決断。まず全社員を対象にGXリテラシー研修を実施し、その後、調達や営業などロール(役割)ごとのスキル習得を支援。知識の土台を固めたことが、後の製品開発や売上向上に繋がった。

関連する役割(人材) - Key Roles & Personnel



GX関連の**法規制**を把握する役割



自社事業におけるGXの**リスクと機会**を理解する役割



Scope1~3の削減目標や**業界ルール**を理解する役割



入札要件や取引リスク、国内外の**法規制に早期対応**する役割



GHGプロトコル、ISSB/SSBJ等の主要な**枠組み**を理解する役割



グローバルや業界の**先行事例・動向**を把握する役割

目的

- 事業活動に伴う Scope1,2,3の排出量を算定し「減らす」ための方針・目標を立てるための土台を作る。

目指す姿

- 削減すべきポイントがデータで可視化されている状態。

主な業務 (Key Tasks)



算定・報告体制の準備

データ収集体制を構築し、
関連法規(省エネ法、温対法など)
に対応する



GHG排出量の算定

Scope1、2、3を算定。
必要に応じて
削減貢献量も算出する



排出要因の分析

算定データを部署別・工程別などに
ブレイクダウンし、主要な排出源を
特定・分析する

Trail Story[実践ストーリー]：はじめの一步

顧客からの要請はあったが、人手不足で手つかずだった。まず最低限必要な担当者を割り振り、無料ツール(例：日本商工会議所「CO2チェックシート」)を活用して排出量を算出。その結果を経営層や削減担当者に共有することから始めた。

関連する役割(人材) - Key Roles & Personnel



GHGプロトコル等の**算定方法論**を理解する役割



自社サービスの**GX貢献度を定量化**する役割



目的に応じて適切な**算定方法・優先度**を設定するスキル



組織内外で**算定体制の構築をリード**する役割



GHG排出の**経路**を理解するスキル



データを分析し、**経営層や関係者へ報告**する役割

目的

- 自社の経営方針・実態に即した削減計画を策定し、確実に削減に取り組める体制を構築、目標の設定・モニタリングなどを実施する。

目指す姿

- 削減目標に向けた具体的なアクションが各現場で実行されている状態。

主な業務 (Key Tasks)



体制構築とKPI設定

実行力を高めるため、組織横断的な体制を構築し、インセンティブ設計やKPIを設定する。



排出削減計画の実施

経営方針と整合した削減計画を策定し、削減状況を定期的にモニタリング、フォロー、改善する。

Trail Story[実践ストーリー]：部署連携で前進

実務担当者1名でScope1・2を算定後、何をすべきか分からず停滞。ガイドブックを参考に「削減には他部署の人材が必要」と経営層に共有。経営層の支援のもと、必要なスキルを持つ人材がアサインされ、経営層も交えた削減計画の策定・実行が可能になった。

関連する役割(人材) - Key Roles & Personnel



自社の事業に応じた
各種削減施策を立案・実施する役割



政府の補助施策等を活用し、
関係部署と削減計画を推進する役割



省エネ法やSBT等の**法令・民間枠組みへ**
の対応を推進する役割



インターナショナルカーボンプライシング
を調達方針に反映する役割

目的

- ISSB/ SSBJなどの枠組みに沿って、自社の取組を透明性高く開示し、ステークホルダーからの信頼獲得とエンゲージメント向上を図る。

目指す姿

- 「GX先進企業」として市場から選ばれる状態。

主な業務 (Key Tasks)



情報開示

ISSB/ SSBJ等の枠組みに基づき
開示情報を特定・収集し、
公表資料にまとめる



エンゲージメント

公表資料を用いて
投資家や取引先等と
対話・折衝する



信頼性確保

必要に応じて第三者保証
(合理的保証・限定的保証)
を取得する

Trail Story[実践ストーリー]：補助金活用+PR

削減費用を捻出できずにいたが、ある社員が設備更新のための補助金を発見し活用。GHGと燃料費を削減できた。その実績を会社HPで公表したところ、環境配慮企業としてPR効果が生まれ、金融機関やメディア等から問合せがあり、想定以上の宣伝効果を得られた

関連する役割(人材) - Key Roles & Personnel



GX関連情報開示の**関係法令、ガイドラインを理解**し、要求事項に沿って開示を行う役割



投資家等とのエンゲージメントを推進し、GX戦略の評価向上に向けた対話をリードする役割



第三者保証の取得等、**開示情報の信頼性確保**に資する体制を構築・推進する役割

チェックリストの未達成項目が、貴社の“次の一手”になります。

知る

- GXに関する法規制を把握している
- GHG削減に関する主要枠組みを理解している(GHGプロトコル、ISSB/ SSBJ等)
- Scope1-3の目標や業界ルールを理解している
- 自社事業に関わるGXのリスクと機会を理解している
- 入札や取引に影響するGX対応と法規制に備えている
- 各国の動向や業界の先行事例を把握している

測る

- GHG算定に関する主要ガイドラインを理解している
- 目的に応じたGHG算定方法・優先度を設定している
- 自社のGHG排出の流れを把握している
- 自社サービスのGX貢献度を定量化している
- 社内外と連携しGHG算定体制を構築している
- GHG排出量を分析し、社内外に報告している

減らす

- 自社に合ったGHG削減施策を立案・実行している
- 政府の補助施策等を活用し、削減計画を関係部署と進めている
- 関連法規やSBT等の枠組みに対応している
- インターナルカーボンプライシングを調達方針に反映している

開示

- GX情報開示の法令・ガイドラインに沿って対応している
- 投資家等との対話を通じてGX戦略を発信している
- 開示の信頼性を高める体制を構築している

本ガイドで「やるべきこと」が見えたら、次は「誰がどのようなスキルを持つべきか」を具体化しましょう。

GXスキル標準 (GXSS)

2025年5月公表。各役割に必要な専門スキルを詳細に定義しています。人材育成の羅針盤としてご活用ください。

ガイド本体（詳細版）

実務の具体的な手順や算定方法を解説しています。本啓蒙資料と併せて活用し、確実なGX推進を可能にします。

GXは自社でできることから一歩ずつ取り組み、
実践の輪を少しずつ広げていくことが重要です。

本ガイドブックとGXスキル標準を活用し、
貴社のGX推進を始め、そして前進させていきましょう。